

#### 参考：本書の作成経緯について

日本労働研究機構（労働政策研究・研修機構の前身）では、労働関係の情報を広く提供することを目的として、「加工指標開発に関する基礎研究委員会」（座長神戸大学大学院経済学研究科三谷直紀教授）を設置し、加工指標の提供に関する基礎的な研究を実施した（平成9年度）。そこでは、各方面へのヒアリングを行い、利用ニーズの高い指標を検討するとともに、政府の各種白書等をサーベイし、一般に広く提供すべきと考えられる加工指標を整理した。その結果を受け、提供すべきと判断された加工指標について実際の開発作業が行われ、利用者のニーズにあった加工指標の作成がなされてきた。本書は、以上の経緯を受け、従来以上にわかりやすく有益な情報提供を目指して、提供すべき加工指標の項目を検討・吟味し、作成したものである。

## 索引

[い]	
引退年齢	289, 285, 293, 305, 309, 320, 322
引退年齢の国際比較	307
[か]	
開業率	164, 165, 166
会社紹介転職者割合	155
過剰雇用	124, 126, 128, 129
課長	265, 270, 272
学歴別失業率	67
[き]	
均衡失業率	98, 100, 101, 102, 103, 110, 111, 114
勤続年数	158, 163, 200, 201, 209, 233, 234, 251, 252, 253, 256
勤労者生活指標	278, 283
[け]	
欠員	99
欠員率	98, 99, 101, 102, 109, 110
[こ]	
構造的・摩擦的失業	110, 111
コーホートの別にみた生涯労働時間	321
呼称パート	38, 39, 40
雇用形態別失業率	64, 65
雇用失業率	57, 58, 98, 99, 101, 102
雇用者の平均引退年齢	306
雇用人員判断 D. I.	128
雇用喪失	167
雇用創出	164, 166, 167
雇用調整	124

[さ]

産業間転出割合 ..... 145, 147  
 産業別雇用失業率 ..... 57, 58, 59, 60

[し]

資産格差 ..... 258  
 失業期間 ..... 69, 70, 90, 92  
 失業継続期間 ..... 72, 74, 79, 80  
 失業指標 ..... 57, 98  
 失業者世帯 ..... 116, 117, 118, 119, 122  
 失業世帯 ..... 118, 120  
 失業の深刻度 ..... 90  
 失業頻度 ..... 72, 74, 79, 80, 98  
 就業分野の性差指数 ..... 46  
 出向労働者比率 ..... 52  
 生涯賃金 ..... 255, 256, 257, 284, 285, 293, 294, 309  
 生涯に関する指標 ..... 284  
 生涯労働時間 ..... 309, 320, 321  
 職業間転出割合 ..... 145, 147  
 職業別雇用失業率 ..... 61, 63  
 所定内給与 ..... 25, 31, 176, 210, 226, 228, 233, 235, 236  
 所得格差 ..... 258, 259  
 所得の不平等度 ..... 258  
 所得変動 ..... 246  
 新規開業による雇用増 ..... 171  
 事業主都合離職率 ..... 155, 156  
 自己都合離職率 ..... 155, 156  
 ジニ係数 ..... 258, 259, 260, 263  
 若年無業者 ..... 42, 44  
 需要不足失業率 ..... 98, 100, 101, 109, 110

女性役職者割合	276
[そ]	
損失所得を考慮した完全失業者数	85, 88
[た]	
退職	284
退職金	243, 244, 245, 246, 247, 251, 253, 255, 256, 284, 285, 293
退職金減少率	251
退職金の学歴間格差	243, 244, 246
退職金の規模間格差	243
単身赴任割合	54, 55
短時間労働者	32, 36, 37, 38, 226, 228, 236
ダンカン指数	48
男女間賃金格差	233
[ち]	
中途採用者	236, 237, 251
長期失業指標	69
長期失業者割合	69, 70
長期失業率	69, 70
賃金格差	176, 177, 226, 233, 236
賃金コスト指数	9, 16
賃金変動 D. I.	246, 248
[て]	
転出割合	145
転職希望率	141, 147
転職による生涯賃金減少率	255
転職による退職金減少率	251
転職による賃金変動 D. I.	246
転職率	131, 134, 135
ディビジア指数	27, 28, 32, 34, 36

ディフュージョン・インデックス (D.I.)	246
[と]	
倒産発生率	174
同一企業型職業生涯	285, 293
[は]	
廃業率	164, 165
パートタイム労働者	29, 30, 31, 33, 38, 40
パートタイム労働者比率	38, 40
パート労働法	38
[ひ]	
標準労働者	293, 294
[ふ]	
フリーター	42, 43, 44
部下の数	270, 272
部長	265, 270, 272
部長・課長比率	265
[へ]	
平均引退年齢	293, 305, 306, 307, 309, 322
平均勤続年数	158, 159, 160, 163
[ま]	
摩擦的失業	110, 111
マンアワー	9
[み]	
ミスマッチ	110, 112, 113
ミスマッチ指標	112, 113, 114, 115
[や]	
役職	265, 276
[ゆ]	
有配偶単身赴任者	55, 56

UV 曲線	110
UV 分析	98, 109
U1～U6	90, 91, 94, 96, 98
[ら]	
ラスパイレス賃金指数	200, 201, 202, 208, 210, 211
[り]	
離職率	155
流動化	131
[ろ]	
労働移動関連指標	131
労働生産性指数	9, 13
労働投入量指数	9, 10, 11
労働の質指標	24, 27
労働分配率	20, 22, 23
労働力配分係数	151, 152, 153
ローレンツ曲線	258, 259, 261